

興産信金 参加費全額を東日本大震災義援金に 初のビジネス交流会開く

元大蔵省財務官 榊原氏が基調講演

参加企業278社が交流を積極展開



期待を語る前川理事長 (右) と堀田東商千代田支部会長



興産信金(理事長・前川秀樹氏)は、9月8日、「第1回KOSANビジネス交流会」を、東京・飯田橋のホテルグランドパレスで開催し、好評を博した。

地域企業からの強い要望で初の異業種交流会を開いたもので、千代田区内5店舗(本店、神保町、秋葉原、飯田

橋、市ヶ谷)の取引先中小企業278社が参加。活発な情報交換や交流を行った。

開会にあたり前川理事長が挨拶し、「私共は都内の信用金庫の中で千代田区に本店を構える唯一の信用金庫です。このようことから、まず千代田区の企業の方々を対象に情報提供や情報交換の場を創

造し、皆様の事業や地域経済の発展に少しでも貢献したいと、このビジネス交流会を開催させて頂きました。ぜひ皆様の経営にお役立て頂ければと願っております」と、開催の趣旨を述べた。

第一部では、超円高への対応が焦眉の急となる中、元大蔵省財務官で「Mr.円」と言わ



「円高は続く」と述べる榊原氏

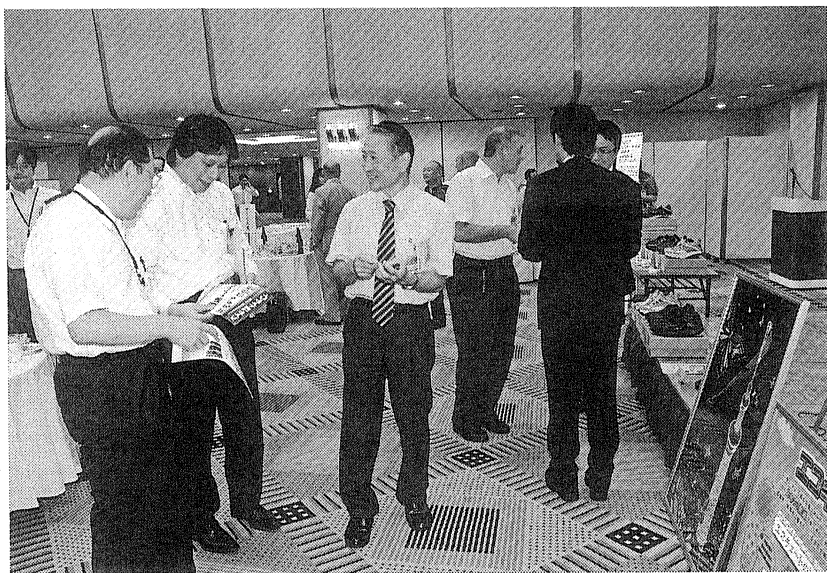
れた榊原英資青山学院大教授を招き、講演会、「今後の日本経済の動向と中小企業の対応」を行った。

同氏は、サブプライムローン破裂から始まった米の金融バブル崩壊と欧米の財政赤字進行をわかりやすく解説しながら、しばらくは1ドル75〜79円の円高が続くと指摘。

「世界同時恐慌になる危険性もあるが、政治家もメディアも危機感が薄い」と、警鐘を鳴らした。

第二部情報交換会では、後援の東京商工会議所千代田支部・堀田康彦会長(かんだやぶそは4代目)が挨拶。

「興産信金が取引先同士をつなげるという新しいステージ



あちこちで活発な情報交換や商談が

に踏み出したのだなど理解しています。東商でもこうした活動を沢山していますが、実際には優れた商品を持っていないながら取引先との出会いがない、欲しいものをどういう所で探せばよいかわからないという事例が沢山ある。きめ細かく各企業とつながっている信金が踏み出すのは大変意義があることで、発展に期待しています」と述べた。

交流会では製造業34社、小売業57社、サービス業98社、建設・不動産業45社、その他44社の計278社と、信金中金など提携先4先が参加。ブースでの商品展示(20社)やカタログ・会社案内展示(80社超)、名刺交換などを通じて積極的に交流を図った。老舗企業もあれば、電子書籍作成・販売会社、ファイナル変換ソフト会社、油不要のフライパンや省エネガラスコーティング材の版社などニュー・ビジネスの会社もあり、幅広いビジネスチャンスにつながる場となった。

なお、同交流会の参加費は全額、東日本大震災の義援金として日本赤十字社に寄附する。

Kintai
金融タイムス

9月25日 日曜日

発行所
金融タイムス社
東京千代田区九段南3-7-9
〒100-0074 電話 03(3281)1100 傳
郵便振替 行名 大塚一庫
郵便振替口座 00160-4-62520
発行日 10日、25日